

女性懇談会進捗状況(蛭川地区)

※ 懇談会で出た質問全てが掲載されているわけではありません。

※ 答弁者の役職名は開催当時のものです。

予防医療（蛭川での講演会開催、保健師常駐）

平成 22 年度

健康医療課 1053

質問（蛭川地区住民）

・健康福祉会館で開催される予防医療の講演会など機会があるが、不便なので行けないので、地元で開催して欲しい。
・蛭川に保健師が常駐して指導してほしい。

答弁（市長）

△

・地元で開催との話は、知識の普及と保健指導の面とがあるが、保健師による生活指導などの部分の方が大事。例として付知が恵北の中でも力を入れていて健康保険料も低かった。医者にかかる前に健康づくり＝人員、体制、金はあるが、同じ金をかけるなら健康のままがいい。健康づくりは栄養・運動・趣味・健診の4要素が大切。現地での健診、指導、取り組みをグループでやる(長続きするよう)のが目指す形。
・研修などの開催は検討したい。全部旧町村での開催は難しい。現地の保健師の配置から考えたい。

実施済・実施中の事項

×

・毎年蛭川地区健康推進員の活動を中心として、蛭川地域の方に参加してもらって健康づくり企画を実施中です。
・介護予防事業として、蛭川地区の健康課題に沿った健康講話や健康相談を年27回 延べ401人の方に行っています。
・蛭川への保健師の常駐については、拠点化という考えから現状の配置とします。

今後の計画等

予定日

保健師の蛭川常駐

平成 22 年度

健康医療課 1055

質問（蛭川地区住民）

・健康づくりの点でも大事だが、子どもの発達について蛭川ですぐに相談できる窓口がなくなった。福岡へと言われしませんが、ぜひ蛭川で保健師にいてほしい。

答弁（市長）

△

保健師については職員850人体制の組み立ての中もう少し深く考えたい。消防士は維持、一般行政職は採用を控えていたが、保健師は組立がまだ弱かった。人口の絶対数ではなく、人口密度も考慮し、地域のバランスを考えて、広い市全体を見渡してしっかりとした考え方を組み立て、その上でお知らせして納得の行く形にしたい。

実施済・実施中の事項

×

・子どもの相談については、蛭川保健センターにて乳幼児なんでも相談を月1回開催し、年間延べ134人の方が参加しています。また、発達支援のための「あそびの教室」を年13回実施し延べ143人の方が参加しています。H22は開催回数を増やしています。
・福岡総合事務所を拠点として保健師を配置しているが、蛭川担当保健師は1名おり、週1～4回は蛭川へ行っています。
・電話相談・家庭訪問にて随時対応をしています。
・保健師の配置については、地区の人口規模や密度も勘案し、効率良く業務を遂行するための検討を進めているところです。
・検討した結果保健師の配置については現状の配置とします。

今後の計画等

予定日

子どもが遊べる公園がほしい

平成 22 年度

計画課 1056

質問 (蛭川地区住民)

他所からお嫁にきたお母さんたちが子どもが遊べる公園が欲しい。(大きくなくていい、遊具1つ2つ)
他のお母さんや子どもとのつながり、輪が広がる。

答弁 (市長)

△

・公園は都市部から来られた方は公園デビューなどの話もあり、他の地区についても同じ話。公園に行くことで情報交換の場になるという点もある。
・市全体で(公園の配置)検討したい。

実施済・実施中の事項

△

なし

今後の計画等

中津川市全体で公園の配置について検討します。

予定日

蛭川中学の存続について

平成 22 年度

教育企画課 1060

質問 (蛭川地区住民)

中学校での伝統文化継承の取り組み杵振り踊りの多くの子どもが参加、蛭川を離れた子どもたちも当日帰ってきて踊る。中学校で踊り継承の取り組みがあるからぶっつけ本番で踊れる。踊る子どもを誇りに思った。
少子化対策の5つのステージについての話があったが、蛭川では伝統文化がここに入る。中学校の統廃合により蛭川中学校がなくなるとこの伝統文化がなくなってしまふ。蛭川中学校を存続してほしい。

答弁 (市長)

△

おっしゃるとおりで、基本的にふるさと意識の醸成、継続は大事と考えている。教育については公約にも上げて教育委員会に話している。市長公約の「自然体験やふるさと教育の充実」地域のものは合併したからといって埋もれさせず育てていく。子どもたちに受け継いでいって欲しい。少子化により複式学級になる事態は、国や県の政策が対策を打っていない、しわ寄せが中山間地にきているもの。時代潮流。地方の人口減少が国家的課題。
中津川市はUIターン住宅の取り組みをやっている。蛭川の地域の良さを継続(文化、お祭り、産業)するには市の取り組みとして3点セット+4で施策を打っていく。杵振り踊りについては中学校でなくても地域で教える方法もある。PTCA(地域=C)について教育委員会でも取り組んでもらっている。将来における「勤勉彊直」塾としてPTCAで、祭りは地域のものとして継承してもらいたい。

実施済・実施中の事項

△

この件については、適正化の地域協議会で検討していただきます。
「中学校を存続してほしい」というご要望も、選択肢のひとつとして、この協議会の中で方向性を判断していただくこととなります。

今後の計画等

基本計画の策定後、各地域で協議を行っていただきます。
地域協議で合意後、地域の実施計画を作成し、実施に向けた取り組みをはじめます。

予定日

結婚相談の開催について

平成 22 年度

少子化対策課 1063

質問 (蛭川地区住民)

北商工会 分科会 女性部合併のメリット、デメリット、一体感がある程度ある、各支部の交流ができた。
・結婚相談を商工会は行っているが、市の取り組みはないのか。

答弁 (市長)

○

・結婚相談では「結婚活動支援事業」を活用してください。PR不足してたかも。
・阿木では地域の生き生きネットワークで活用してやっている。

実施済・実施中の事項

■

・平成22年度から地域の皆さんが中心になって、男女の出会いの機会づくりやセミナーを開催する企画運営に補助金(1団体30,000円)を交付しています。また、市主催による、婚活パーティーを2回開催し、男女の出会いの支援を行いました。
・平成23年度では、公共婚活サイトの構築・結婚相談所開設・結婚相談員とサポーター(応援団)を委嘱し、男女の出会いを支援します。

今後の計画等

・今後も広報なかつがわや市のホームページ等でPRや情報提供を行っていきます。
・引き続き補助金を交付しながら、婚活パーティー等の支援を行っていきます。
・婚活サイト・結婚相談所・サポーターが連携を図りながら、男女の出会いを支援していきます。

予定日

高齢者の買い物の足

平成 22 年度

情報交通課 1064

質問 (蛭川地区住民)

・お店が減少、老人が買い物に行けない地域の活性化など市の協力はなのか。

答弁 (市長)

・高齢者の買い物については、互助交通で買い物の足を確保する「新ファミリーサポートセンター」という取り組みを考えている。今のファミサポは勤労者、子育て、介護という枠が決まっているが、もう少し広くしたい。福岡、阿木でモデル的にやって、他の地域に広めていきたい。

実施済・実施中の事項

23年8月から阿木地区の試行運行を開始しました。課題等が未整理であるため時期等の計画の具体化にまでは至っていません。この試行の展開、検証状況を地域と共有しながら、高齢支援課と連携し、助け合いによる互助交通を地域と一緒に議論していきたいと考えています。

今後の計画等

現在阿木地区の試行運行期間中であり、課題等が未整理であるため時期等の具体化にまでは至っていません。この試行の展開、検証状況を地域と共有しながら、高齢支援課と連携し、助け合いによる互助交通を地域と一緒に議論していきたいと考えています。

予定日

文化施設の利用料金について

平成 22 年度

生涯学習課 1065

質問 (蛭川地区住民)

公民館(蛭子座)を改修してもらってありがたいが利用料改定して、無料から有料になった。負担は大きい。今日の資料にポイント制度があるとあった。今年4月からとあるが初めて聞いたので詳しく説明して欲しい。

答弁 (市長)

・夜明け前スタジアムの管理費から発想。使う人に管理を手伝ってもらい使用料を減免する。スポーツ施設から文化施設へ拡大。始めたばかりなので今後中身に手を加えていく。
・合併して料金については公平性のために統一、負担をゼロにすることは税金を入れる＝使わない人も負担することになる。合併は痛みも分かち合う必要がある。
・中津川市役所職員はいいことを宣伝してない。広報していかなければならない。

実施済・実施中の事項

「広報なかつがわ」平成22年8月号と平成23年4月号で、サポーターポイント制度を紹介しました。また、平成23年3月に各公民館にPRポスターを配布し掲示しました。平成23年4月号蛭川地区の地域広報誌と同時に、制度説明のチラシを配布しました。今後も継続的に制度の利用促進を行っていきます。

今後の計画等

各施設との連携をとり、利用促進のPRを行います。

予定日

蛭川診療所の活用

平成 22 年度

健康医療課 1067

質問 (蛭川地区住民)

・予防医療のために蛭川の診療所の2階の施設を活用して欲しい。

答弁 (市長)

診療所の件は所長から説明を(蛭川総合事務所長)
蛭川診療所の2階にあるリハビリ施設は医療施設で医師の指導のもとにでの医療は可能。
(市長)
診療所の医師の指導を受けていればいい＝保健師が医師の指導を受けては？杓子定規の話。補助金返してやればいい。使えない空間ではだめ。やらない理由じゃなくやる方法を考えよ。
(地域振興局長)
現状は健康づくりには利用できないが、地域医療対策監と利用できる方向で検討したい。

実施済・実施中の事項

・国保保健事業をひきつづき実施していきます。(国保坂下病院へ保健師、運動指導士を依頼し国保保健事業(介護予防・生活習慣改善教室)を蛭川診療所2階で実施しています。平成20年から継続実施しています。)

今後の計画等

・関係課等と連携し活用できる方向で検討を行う。
・国保保健事業を引き続き実施していきます。

予定日

質問 (蛭川地区住民)

・子宮頸がん、ヒブワクチン接種の助成はいつからか。個人負担はどのくらいか。
 ・インフルエンザの予防注射の子どもへの助成をしてほしい。

答弁 (市長)



・子宮頸がん、ヒブワクチンの方が重篤性の観点から先に対策をうつ。
 ・インフルエンザは効果に多少議論がある。(厚生労働省)来年度予算で対応を検討中。インフルエンザは保留。

実施済・実施中の事項



・平成22年度インフルエンザ予防接種の助成については、65歳以上の高齢者の方は、1回1500円の自己負担で接種できるよう助成を行っています。
 ・平成22年度住民税非課税世帯については、住民税非課税世帯であることを確認し、新型インフルエンザ予防接種費用助成の申請を行うことで助成券を発行し世帯員全員について無料で接種出来るよう助成を行っています。
 ・子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン接種、小児用肺炎球菌ワクチン接種については平成23年度から予防接種を行っています。個人負担額については無料で実施しています。
 ・子どものインフルエンザ(1歳から中学3年生)については検討を行った結果今年度は10月17日から12月17日の間に自己負担1回1500円で接種できるよう事業を行います。

今後の計画等

予定日